

機能分類体系			機能要件	必須 機能
大項目	中項目	小項目	要件	
■機能要件				
基本設計	システム	個別学習	個別学習に対応した「ドリル教材」を保有すること。	○
基本設計	システム	教科書準拠	「ドリル」に収録されている教材は文部科学省学習指導要領に準拠し、本市が採用する教科書に対応すること。	○
基本設計	システム	教科書準拠等	本市が採用する教科書の単元の掲載順に合わせた問題を表示できること。	
基本設計	システム	データ連携	学習データの利用活用に向け外部ソフトとデータ連携ができる機能を有すること。	
基本設計	システム	テスト機能	クラウドサービス内に、ドリル機能とは別に独立したテスト機能を有すること。	
基本設計	教材	対応教科と対応学年	「ドリル」には国・数・理・社・英を収録し、生徒は校種を超えて当該学年以外の内容にも取り組むことができること。なお、小学校1～3年生の問題については、国・算、小学校4～6年生の問題については国・算・理・社のみで可とする。	○
基本設計	教材	問題数	収録されている問題数は50,000問（小学校や高校等の振り返り・先取り学習問題も含めて）以上であること。	
基本設計	教材	難易度別問題	各教科において基礎基本的な内容及び発展的な内容の問題など難易度別に問題が用意されていること。	○
基本設計	教材	難易度別問題	公立高校入試対策に関するコンテンツ・問題が用意されていること。（高校入試問題の過去問題などが用意されていることが望ましい）	○
基本設計	教材	解説機能	生徒が自ら取り組み、確認することができる解説機能を有すること。	○
基本設計	教材	解説機能	解説に動画解説が搭載されていること。	
活用場面	生徒の活用	学習意欲を高める仕掛け	「ドリル」全体を通して、メダルの付与等による生徒の学習意欲を喚起するような仕掛けを有すること。	
活用場面	生徒の活用	自動採点	英字、数字を含む数式（文字列）の自動採点ができること。	○
活用場面	生徒の活用	自動採点	出題された問題に対して、ユーザーが回答した内容を即時に自動採点ができること。	○
活用場面	個別学習	教材	国語において、内容の読み取りに関する問題があること。	○
活用場面	生徒の活用	手書き認識機能	漢字問題では、生徒が手書きで入力ができるうえ、その解答を認識する機能を有すること。	
活用場面	生徒の活用	解答機能	計算などのメモができる機能を有すること。	○
活用場面	生徒の活用	解答機能	誤答問題だけを再度取り組める機能を有すること。	○
活用場面	生徒の活用	正答状況に合わせた問題提供	生徒の正答状況に応じて、習熟度にあった新たな学習課題等を自動で提供し誘導する仕組みを有すること。	○
活用場面	生徒の活用	中断再開機能	問題の取り組み途中で中断しても、続きから始めることができる機能を有すること。	
活用場面	生徒の活用	活用ログの確認	分からない問題、なぜ間違えたか分からない問題をマークし、記録に残せるような機能を有すること。また、振り返りが容易にできる機能を要すること。	
活用場面	生徒の活用	活用ログの確認	学習状況が可視化され、生徒自ら学習履歴や進捗状況を確認することができること。	○
活用場面	教員の活用	教員による学習状況の確認	教員用アカウントから、生徒の正答結果等の学習状況を、個人別・クラス別で確認できること。	○
活用場面	教員の活用	取組状況の把握	教員が、生徒の取組状況をリアルタイムに把握できる機能を有すること。	○
活用場面	教員の活用	指導や評価への活用	生徒の学習成果物（取り組んだ問題、取り組んだ数、取り組んだ時間、正答率など）は、生徒別の学習成果物確認画面に一元的に整理され、普段の指導や学期を通じた評価等に活用することができること。	○
活用場面	教員の活用	問題やコメントの配信	教員が任意の問題を選択し、宿題としてクラス内に一斉、もしくは個人別に配信する仕組みを有すること。	○
活用場面	教員の活用	問題やコメントの配信	生徒に対してクラス内に一斉、もしくは個人別にコメント配信できる機能を有すること。	
活用場面	教員の活用	問題やコメントの配信	問題を作成し、配信する際に解答の制限時間等の設定ができること。	
その他の機能	設定	表示	ログインした学年に応じて、メニューを平仮名表示できること。	
その他の機能	設定	表示	外国籍生徒や発達段階などに応じた漢字に配慮し、生徒自ら画面表示を行う機能があること。（他ツールとの併用表示も可）	
その他の機能	設定	ユニバーサルデザイン	文字の大きさや、画面のデザインなど、生徒自身が見やすいように変更することができること。	
その他の機能	設定	インクルーシブ教育	特別支援教育の一助となるような機能があれば幅広く提案すること。	
その他の機能	登録・配信	問題登録	教員自身で、問題を登録できる仕組みがあること。	
その他の機能	登録・配信	活用ログの確認	提供される教材の活用ログデータを教員や教育委員会が収集できること。	
その他の機能	更新	適切な教材の更新	契約期間内に最適な教材が使えるよう問題のデータ更新等は無償で行うこと。また、その仕組みを持つこと。	○
その他の機能	更新	バージョンアップ	契約期間中、システムに係る必要なバージョンアップを無償で対応すること。	○

備考

機能要件について、今後アップデート等で令和８年度４月１日時点までに要件を満たす場合でも可とする。その場合は提案内容にその旨を明記すること。
